



【さんぺい武後援会ニュース】

未来へとどけ！
エコシティ
ひたちなか

発行 NO.73

発行日：2026年10月16日

発行者：さんぺい武後援会

住 所：ひたちなか市市毛1077

電 話：029-273-6826

第18回 後援会総会を開催

第18回さんぺい武後援会総会を、8月19日（水）午後5時30分から日立労組水戸支部会館で行いました。当日は、ご支援をいただいている団体・労組・OBの方々和水戸事業所の各職場から73人のご来場をいただくとともに、リモート参加併用での開催とし、多くの皆様にご参加をいただき、近内後援会会長挨拶や後援会の経過報告と活動方針を確認していただきました。

また、「さんぺい武」より議会での活動内容や令和8年度の市予算概要と重点施策、要望事項への対応などを含めた市政報告を行い、盛会に開催出来ました。



御礼の挨拶をする「さんぺい武」



近内後援会会長挨拶



多くの方々のご参加、ありがとうございました。



市政報告を行う

【9月定例議会】

令和8年度第3回ひたちなか市議会9月定例議会が、9月1日から28日間にわたり開催されました。本定例議会では、5件の報告案件説明と令和7年度の一般会計と特別会計を合わせた16件の決算認定議案、令和8年度一般会計補正予算と条例の改正など19件の議案を審議し、全案件を原案の通り可決成立しました。

今回は、令和7年度決算と令和8年度一般会計補正予算の概要、その他トピックスについて報告します。

令和7年度決算について

令和7年度の当初は、一般会計及び13の特別会計（水道事業会計、下水道事業会計を除く）を合計して950億4,782万6千円の歳出予算を計上し、雨水幹線整備や河川改修、冠水対策、土地区画整理事業及び勝田駅東西自由通路修繕工事など、安全安心で快適に暮らせるまちづくりに必要な都市基盤の整備に加え、令和6年度から小中学校施設整備事業や体育施設整備事業、大川改修事業など26億6,209万1千円の予算を繰越すとともに、生活の安全保障・物価高への対応などを柱に編成された、国の補正予算への対応に伴い、7回の補正予算を編成した結果、一般会計及び特別会計を合計して1,013億4,252万7千円の歳入歳出予算に対し、令和7年度の決算額は、歳入総額986億5,767万4千円、歳出総額938億244万9千円になりました。



＜一般会計＞歳入：655億1,605万4千円

（前年比0.3%減）

歳出：627億8,303万9千円

（前年比0.2%増）

＜特別会計＞歳入：331億4,162万2千円

（前年比1.5%増）

歳出：310億1,941万円

（前年比0.6%増）

〔水道事業会計、下水道事業会計を除く〕

【決算委員会審議】

9月定例議会の会期中に決算委員会は9月15日～24日まで開催されました。令和7年度各会計の決算議案16件が付託され、私は決算委員として質疑・要望など審査を行いました。歳入については、企業誘致や産業振興を着実に推進し、雇用の創出と安定した税収の確保に努めるとともに、市民の利便性向上など収納対策を講じること。歳出では、人口減少・少子高齢化の進展にともなう社会保障関連経費が増加し厳しい状況が続く中で、効率的かつ効果的な事業を進めること。また、物価高騰や人件費上昇、資材価格の高騰に伴う事業費の増額などの影響が大きい中、市民サービスの向上と健全財政の両立を図るための行財政改革の推進と各事業の決算状況を適切に見直し、継続的な改善に取り組むことなどを要望して、認定することに賛成しました。

令和8年度一般会計予算に6,225万9千円を増額補正し、総額は648億4,273万7千円

～主な補正予算～

1. 総務費

- (1) 地域公共交通事業者等燃料費高騰対策支援金---+1,663万円
(エネルギー価格が高騰する中、地域公共交通ネットワークの維持確保を図るため、公共交通サービスまたは、これを補完するサービスを提供する事業者を支援する)

2. 衛生費

- (1) 指定ごみ袋の追加作製に伴う補正
---+2,895万9千円
(指定ごみ袋について、作製単価の上昇により当初予算では必要数量の作製ができなかったことから、増額補正し追加作製する)



3. 土木費

- (1) ひたちなか・東海広域事務組合負担金---+860万9千円
(全国的に実施された大規模管路の調査に関して、ひたちなか・東海広域事務組合管轄の雨水管の一部が要対応と判定されたことを受け、追加調査する)

4. 教育費

- (1) 中学校等給食費無償化---+3,303万3千円
(物価高騰の影響を強く受けている子育て世帯を支援するため、国による給食費無償化の対象となっていない中学校及び義務教育学校(後期課程)の給食費2ヶ月分を無償化する)



トピックス 【子ども誰でも通園制度】令和8年度からスタート

全ての子どもの育ちを応援し、良質な生育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して多様な働き方やライフスタイルに関わらない形での支援を強化する制度です。本市では、子育て支援センターひまわりにおいて、保育園などを利用していないお子さんが、保護者が仕事をしていない場合でも、通園することができる制度で、家庭にいてだけでは得られない様々な経験を通して、子どもの成長を応援します。

日時：(月)～(金) 午前の部(9時～11時30分)、午後の部(1時から3時30分)

場所：子育て支援センターひまわり(津田保育所内)

対象：保育所などを利用していない0歳6カ月～3歳の誕生日前々日まで

利用回数：月4回、合計10時間まで

利用料金：1回750円

※詳しくは市ホームページを参照ください。



【二川ひでとし県議会議員の後継者決定】



北原ゆうじ(ひたちなか市議会議員/Astemo労組)
二川ひでとし県議(右)の志を受け継ぎ、「魅力ある茨城」
向け、全力で挑戦していきます

さんぺい武は応援しています!!

茨城県議会議員予定候補
〔ひたちなか市選挙区〕

北原ゆうじ

対話
行動
即実践



ハーフタイム

文房具の進歩が目立っています。配布される資料などでよく使われるようになっているのが「針なしホチキス」。使用後のリサイクルが当たり前になり、針をいちいち外す手間がないことが便利です。⊙字を消せるボールペン、芯の折れないシャープペン、立つ筆箱などの商品が続々登場しており、開発担当者のアイデアが光ります。⊙数年前に話題となったのが、都内の小さな印刷所で開発された「方眼ノート」。中央部分が膨らまず、180度水平に開くのが特徴です。⊙当初この性能は評価されたものの大量の在庫を抱えてしまいました。ある日「学校の友達にあげて」と渡された孫娘がツイッターに投稿すると、一気に話題になり注文が殺到しました。⊙「おじいちゃんのノート～下町の職人魂がオンリーワンを生んだ～」という書籍にもなりました。様々な開発には人知れない苦労があるのだと思います。しかし、この改善の積み重ねが私たちの生活を支えてくれているのでしょう。